

2016. 9. 29



NPOフォーラム・だより No.75

NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 1016 さらしな館 TEL&FAX:0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp>

会員・寄付募集中! ⇒ 郵便口座 00260-1-97307 名義:NPO法人安房文化遺産フォーラム

年会費=A会員 2,000 円(総会出席権あり)/B会員:個人 1,000 円(ニュースのみ送付)・法人 10,000 円

■ 和紙人形展 in 青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅

◎ 10月の土・日・祝日 10:00~15:00

入館料(維持協力金):一般 200 円・小中高 100 円・友の会無料

山田恭子先生のかみ細やかで美しい和紙人形を特別展示します。
作品は、『南総里見まつり』『鎌倉三代記(たてやま村歌舞伎)』。
庭園では、船田正廣制作のブロンズレリーフ『刻画・海の幸』と、その隣にノーベル医学生理学賞受賞・大村智先生のお手植えによる記念植樹クロガネモチも鑑賞できます。



■ あいの浜ウォーキング~青木繁が歩いた小道をたぞねよう!

◎ 10月10日(月) 9:30~11:30 集合:相浜漁港先の浜(駐車場)

参加費:一般 300 円・小中高 200 円・友の会 100 円 (青木繁「海の幸」記念館入館券・保険・マップ含む)

「相の浜なんて、詩的な名ではないか」…青木繁がそう語った漁村を歩きましょう。

見学地:相浜神社、元禄地震津波供養碑(蓮寿院)、巴橋(国登録文化財)

神田吉右衛門の碑、日露戦争戦役の碑、マグロ延縄船・安房節記念碑 …等。

■ 知恵袋講座「明治期の布良と青木繁に関する新考察」~in さらしな館(NPO 新事務所)

◎ 11月6日(日) 13:30~16:00 講師:愛沢伸雄 参加費 200 円(資料・茶菓子付き)

日露戦争下の要塞地帯において重責を担い多忙であった小谷喜録は、なぜ青木繁ら4人の若者を客人扱いで40日間も世話をしたのか。喜録の義弟は東京本郷で美術文学誌の発行人であり、青木が将来有望な画家であることを知っていたのではないかという新説を披露。また、青木繁が描いた小谷家周辺略図と古地図の比較から、隣接地に巖島神社・龍神社があったことも分かり、青木は『わだつみのいるこの宮』構想に向け布良の神話研究をしていた可能性も判明した。旧来の学説に一石を投じる新解釈の研究報告をする。

*ウガンダの子どもたちへ支援金

NPOが窓口となって安房の高校生が 22 年続けてきたウガンダ支援活動。安房西高校JRC部より文化祭のバザー売上と募金 27,668 円、安房・平和のための美術展よりチャリティ基金 50,000 円を預かりました。10 月 2 日におこなう館山病院感謝祭でのバザー売上とともに、友情の絆として計 1,000ドルをUCFI(ウガンダ意識向上協会)へ贈ります。ウガンダの安房南洋裁学校はじめ孤児たちの教育や生活に充てられますので、さらなるご協力をお願いします。

*小高記念館がリニューアルオープンに向けて改装支援募集

私たちが 10 年間活動拠点としてきた小高記念館(国登録有形文化財)が、美味しいフェアトレード珈琲と手作りマフィンの喫茶店「TRAYCLE Market & Coffee」に生まれ変わります。オーナーは館山市名誉市民の故小高熹郎の孫娘・小高絵理子さん、NPOの新会員です。年内オープンを目ざし、耐震工事・内装設備・階段工事など改修のため、支援金を募集しています。方法は、現金・振込・クラウドファンディング。問合せ・申込みは 090-5498-5481(オダカ)まで。info@trayclemarket.com



*旧安房南高校木造校舎一般公開 10月29日(土)10:00~15:00

千葉県指定有形文化財である同校の旧第一校舎が特別公開。ガイドツアー(10:45/14:10)、写真展・作品展など。

*館山の海を愛したジャック・マイヨール展 10月9・10日(日祝)上野の森クリニック 問合せ:050-3734-3899

館山病院展に続き、東京上野の精神科医院にて、臨床美術ワークショップと同時開催。建物は国登録有形文化財。

館山・韓国ソウルに続き、
***青木繁旧居にブロンズレリーフ**
刻画・海の幸」寄贈



※ 台座は波の形で海をイメージ(制作:今村石彫工房)



レリーフを贈る河さん(左)と青木繁
 代表(右)と、荒木会長

青木繁旧居にレリーフ

久留米「海の幸」韓国男性が寄贈

久留米市出身の洋画家・青木繁(1882~1991年)の代表作で、田重要文化財「海の幸」のレリーフが同市荏島町の青木繁旧居に設置され、29日、除幕式が行われた。「海の幸」に感銘を受けた韓国・光州市立美術館名誉館長の河正雄さん(76)(埼玉県川口市)が制作、寄贈した。旧居保存会は「青木が結んだ交流を大切にしたい」と

話している。レリーフはブロンズ製で、縦72センチ、横180センチ、厚さ4センチ、重さ75キロ。計5枚制作したうちの1枚で、これまでに韓国の美術館や「海の幸」が描かれた千葉県館山市の小谷家住宅などに寄贈された。河さんは在日韓国人で、画家を志望していたが、家庭の事情で断念。電器店経営の事業に成功し、絵画作

品を収集している。「海の幸」を見て「汗と海のおいが充滿し、労働の喜びが表現されている」と感動したという。昨年、戦後70年関連行事で館山市を訪れた河さんは、日韓文化交流50周年の美術交流として両国にレリーフを設置することを提案、制作費などの支援を申し出た。除幕式には河さんのほか、レリーフの受け入れ窓口になったNPO法人「安房文化遺産フォーラム」(館山市)の愛沢伸雄代表や久留米市の榎原利則市長も参加。河さんは「韓国と近い九州に設置できてうれしい。美術の交流を通じて日韓の新しい時代を迎えたい」と喜んだ。旧居は青木繁が上京する17歳までを過ごした家で、市民有志の保存運動が実を結び、2003年から公開されている。保存会の荒木康博会長は「多くの方の支援ですてきなレリーフを飾ることができた。韓国との未永い文化の懸け橋となることを期待したい」と話していた。

読売(筑後) 2016年(平成28年)7月30日

ガイド・サポートスタッフ
 募集中!
 (特に★マークの大型団

かにた婦人の村
 草刈支援ボランティア募集!
 10月6日(木) 8:30~12:00
 ※昼食付

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

- ◎ 10名以上の団体を対象に、スタディツアーガイドを有料で承っています。
 ・ガイド料=1人あたり500円。座学・ガイドブック付は1,500円。時間・内容・料金等については応相談。
- ◎ 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス実施しています。

- 10月 2日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 10月 2・3日(日月) 10:40~15:00/9:00~16:00 東葛飾高校 20名=大巖院・青木繁/円光寺・座学・赤山・かにた村
- 10月 3日(月) 10:00~11:00 連合杉並 11名=赤山
- 10月 4・5日(火水) 15:40~17:40/9:00~16:00 JR東労組 6名=座学/赤山・掩体・上陸地・かにた村・大巖院
- 10月 6日(木) 11:00~16:00 西東京かにた村と赤山を訪ねる旅 20名=座学・赤山・かにた村
- 10月 12・13日(水木) 26:40~17:20/9:00~12:00 わせがく高校 150名★=座学・赤山・掩体壕・上陸地
- 10月 13日(木) 9:30~16:00 渋谷幕張学園中学1年 27+28名=戦跡コース:大房・座学・赤山/海洋コース
- 10月 14日(金) 9:00~12:00 日本キリスト教婦人矯風会 25名=座学・赤山・かにた村
- 10月 17日(月) 11:00~16:00 生協ピースの会 27名=大巖院・布良・座学・館砲
- 10月 20日(木) 11:00~16:00 昭和女子大学歴史文化学科 100名★=座学・赤山・青木繁
- 10月 23日(日) 9:00~16:00 明星大学 16名+帝京平成大学 2名=座学・赤山・掩体・上陸・かにた・大巖院
- 10月 24日(月) 10:30~12:00 香取地区高齢者クラブ連合会 60名=赤山・上陸地
- 10月 30日(日) 9:30~11:30 相模原民生委員 25名=赤山地下壕
- 11月 6日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス
- 11月 7日(月) 13:30~16:00 稲城・現代写真研究所・入江ゼミ 13名=赤山地下壕・掩体壕・米軍上陸地・震洋基地
- 11月 7日(月) 10:30~15:30 コープみらい2ブロック委員会(文京) 28名=座学・赤山地下壕・かにた村
- 11月 8日(火) 10:30~15:30 コープみらいクライス(佐倉) 40名=座学・赤山地下壕・かにた村
- 11月 11日(金) 8:45~16:00 館山総合高校1年 150名★=観光の学び「館山まるごと博物館」めぐり(戦跡ほか)
- 11月 18日(金) 10:00~15:00 千葉県立千葉女子高校 320名★=赤山地下壕+青木繁/八犬伝コース